

学校教育



習志野市ご当地キャラ
「ナラシノ」

Narashino Municipal
Board of Education

だより

令和2年6月29日 発行

No. 116

発行・編集

習志野市教育委員会

〒275-8601

習志野市鷺沼 2-1-1

☎ 047-451-1151 (代表)

3か月ぶりの 学校再開・友だちとの再会



無償昼食(中学)

昼食風景



授業風景



鷺沼小学校 登校の様子



第三中学校 登校の様子



習志野高校 登校の様子

新型コロナウイルス感染症においては、国の緊急事態宣言を受け、子どもたちの健康と感染症拡大防止の為、3月～5月まで市立学校・園等を臨時休業としました。本来ならば、学校では5月頃から本格的な教育活動が始まり、授業参観や春の運動会が行われる時期となるはずが、中止または延期をしなければならぬ状況となりました。今後は、日々の授業や行事、日課表等を見直し、その時にしかできないことを出来るだけ体験させ、心身ともに成長できる貴重な機会を大切にしていきたいと考えています。

6月1日(月)の学校再開初日は、あいにくの雨でしたが、子どもたちは明るい表情で登校していました。

116号では主に臨時休業中の子どもたちへの学習のフォローや新型コロナウイルス感染拡大防止への工夫を紹介します。

《第 1 1 6 号》

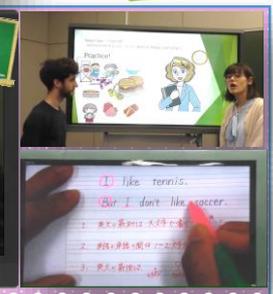
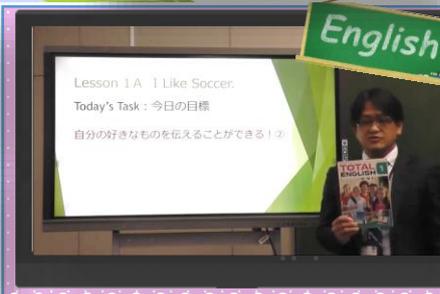
テーマ「新型コロナ禍での学習支援」

《目 次》

3か月ぶりの再開・再会	… 1
授業ネット配信の様子①	… 2
授業ネット配信の様子②	… 3
各校分散登校の様子①	… 4
各校分散登校の様子②	… 5
今年の教育課程の考え方	… 6
齋藤千里校長先生「球団の組織マネジメントを 学校経営に生かす」 / 教育委員会会議	… 8
特色ある教育活動紹介～津田沼小学校～	… 9
習志野高校の活躍・教育長コラム	… 10

先生方の動画・配信

休業中の家庭学習のために

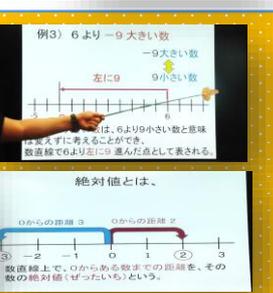
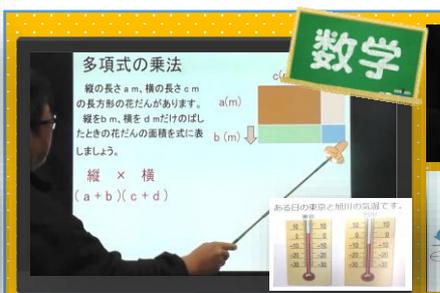


中学理科では、大久保小学校や第四中学校の映像協力で、ギターを引っ張り合って「力のつり合い」を実演するなど、わかりやすい動画となっています。5月29日付では8動画を公開しています。

- 天気図パラパラマンガ
- 中学1年：花のつくり（3動画）顕微鏡の使い方
- 中学3年：力のはたらき 力のつり合い 力の合成

中学英語では、ALTのダンカン先生、ケイティ先生の自己紹介動画から始まるレッスンとなっています。右下の動画はダンカン先生の自己紹介動画です！5月29日付では10動画を公開しています。

- ALT自己紹介
- 中学1年：アルファベットの音と名前を覚えよう Lesson1 A・B・C（3動画） Lesson1 正しく書く（4動画）
- 中学2年：Lesson1 正しく書く

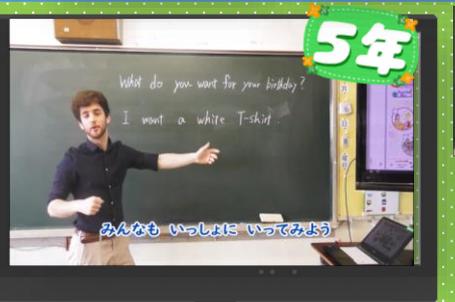
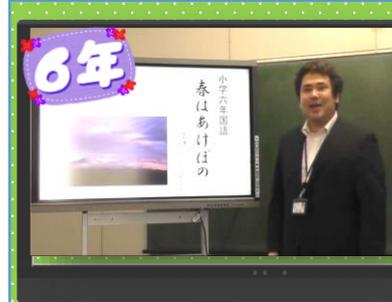


中学社会では、デジタル黒板を活用した動画を配信しています。次回の学習も予告していますので、とても学習しやすい動画となっています。5月29日付では13動画を公開しています。

- 中学地理：主な国々の国名と位置（2動画）世界の姿（6動画）
- 中学歴史：時代の分け方・年表の見方 生き抜く知恵
- 中学2年：時差の調べ方（2動画） 将軍のおひざもと 天下の台所

中学数学では、パワーポイントを活用した動画を配信しています。動きがあって、とてもスムーズに学習できる動画となっています。5月29日付では18動画を公開しています。

- 中学1年（10動画） 正の数・負の数
- 中学2年（3動画） 式の計算
- 中学3年（5動画） 式の展開と因数分解



小学校5・6年生では、向山小学校橋本先生、別府先生、大久保小学校の映像協力で、デジタル黒板を活用した授業動画、小学校教員とALTとの英会話の動画を配信しています。実際に教室で撮影されたものもあり、親しみやすい動画となっています。5月29日付では10動画を公開しています。

- 小学校（算数）：ぴったり重なる対称な図形
- 小学校6年（国語）：春はあけぼの（理科）：顕微鏡の使い方（外国語）：NEW HORIZON elementary 6 Unit 0・1
- 小学校高学年（国語）：敬語のはたらき 同じ音の漢字
- 小学校5年（外国語）：NEW HORIZON elementary 5 Unit 1・2（国語）：漢文



4年生では、向山小学校吉田先生、田中先生の動画の中で、右上写真のように、映画撮影のような工夫もされていて楽しく学べます。
5月29日付では8動画を公開しています。

- 国語
 - ・漢字の音を表す部分
 - ・わたしはだあれ
 - ・ぴったりの言葉 見つけよう
- 算数
 - ・算数ピラミッドを完成させよう
 - ・折れ線グラフ
 - ・角とその大きさ
- 外国語活動 (世界の国のあいさつ・天気のみずね方、遊びのさそい方)
 - ・Let's TRY2 Unit1・2

3年生では、向山小学校の映像協力で、平山先生とケイティ先生の会話から、英語の楽しさが伝わってきます。5月29日付では14動画を公開しています。

- 国語：国語辞典の引き方／じこしょうかいビンゴゲームをしよう
- 外国語活動：Let's TRY2 Unit1～3・6／英語読み聞かせ
- 社会：習志野市ってどんな市なの？／習志野市内を探索しよう
- 算数：かくれた数は何かな？九九の表とかけ算
なかよく分けよう わり算／わり算2
10や0のかけ算 九九の表とかけ算／かけ算を使って



2年生では、大久保東小学校の映像協力で、けんぱんハーモニカの学習を分かりやすく解説しています。
5月29日付では9動画を公開しています。

- 国語：つづけてみよう日記1～3
書くと同じでも読むとちがうことば
声のものさしをつかおう
- 算数：ひょうとグラフ1・2
- 音楽：けんぱんハーモニカ
強さやはやさをかんじて 体をうごかそう

1年生では、大久保東小学校の映像協力による音楽の学習や、まず覚えてほしいえんぴつの持ち方などの動画を配信しています。5月29日付では14動画を公開しています。

- えんぴつのただしもちかた
- 国語：こえを あわせて あいうえお (2動画)
なまえでおはなしづくり／ぶんをつくらう
かき かぎ／ことばを あつめよう
- 算数：かずとすうじ (2動画)／てんとてんをつないで
- 音楽：どんなうたがあるかな／おんがくに あわせて からだを うごかそう
うたにあわせてかもつれっしゃ (おはな) になって あそぼう

特別支援学級



特別支援学級では、袖ヶ浦東小学校や実籾小学校の映像協力で、動画が作成されています。くちのたいそうでは、教員が実際に行い、わかりやすい動画になっています。5月29日付では7動画を公開しています。

- ことばの教室：「口(くち)のたいそう」
- 毎日の生活をチェックしてみよう
- いちわの からす
- 中学校国語：「春の歌」
- 中学校数学：はかってみよう
おり紙でしゅりけんを作ろう～ていねいに折ったり組んだりする練習～



全学年に向けて、「みんなでおどろう！ドレミファナラシド♪」「学校の新しいルール」や大久保東小学校の協力による「習志野市歌」が配信されています。

学校の分散登校の様子（5月11日～15日）



緊急事態宣言発令中

実籾小学校



本校では、一人ひとりのつまずきや悩みに対応するため、1対1の個別指導を実施しました。久しぶりの登校で少し緊張気味だった子ども、下校時には明るい雰囲気になっているように感じました。体験したことのない今回の事態ですが、子どもたちの明るい未来のために、教職員一丸となって精一杯やっていきたいと思えます。

教務主任 佐藤克博

向山小学校



本校では、3密を防ぐため、登校メンバーを分割し、主に「身体慣らし」と「心の開放」を目的に行っています。1年生は初めての登校でした。先生たちからの気持ちを込めた呼名に、元気に返事をする姿に心が熱くなりました。感染を不安に思い、登校を見合わせる家庭の事情も考え、どの家庭にとってもよい方法はないかと日々探っています。「学校ってやっぱりいいな。」と思ってもらえるように、職員一心を合わせていきます。

教務主任 郡司寛之

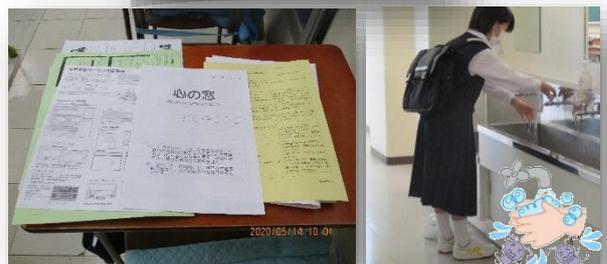
第五中学校



5月15日(金)に一部登校が実施されました。担任と初対面の生徒もいるので、生徒の心のケアを重視する形で、1人10分の時間で個人面談を実施しました。最初は緊張をしていた生徒も、担任の先生との話が進むに従い、だいぶリラックスできていたようです。面談するにあたって、全クラス、ラミネーターで飛沫感染防止用のシールドをつくりました。今後は学習支援にもさらに力を入れていきます。

教務主任 橋本和幸

第六中学校



本校では、生徒や保護者の心の安定を重視し、生徒と保護者それぞれにアンケートを実施しました。多くの不安や課題を抱えていることがわかり、個別の対応に生かしています。校門や昇降口で声をかけると、笑顔を見せる生徒も多く、久しぶりの登校が嬉しそうでした。生徒がいてこそこの学校であると改めて感じました。

教務主任 山代慎也



各学校の分散登校での取組み 各校教務主任より

津田沼小	新しい生活様式に則り、体育の授業を短時間で学年ごとに半数で校庭で行った。	関 智哲
大久保小	1回目の登校は全児童の安全確保のため、登下校で保護者の同伴を依頼した。	相川正代
谷津小	クラス数が多く、各校舎で1学年だけの登校とした。出席番号で5班に分けた。	高橋恭子
鷺沼小	子どもたちと心の繋がりを保つため、校舎の窓やHPを使ってメッセージを送った。	中村吉宏
大久保東小	児童が前向きに過ごせるように明るい挨拶と声をかけた。細やかな学習支援の実施。	笹原 智
袖ヶ浦西小	休校中に読書に親んでもらうため、本の貸し出しをウォークスルー方式で行った。	白戸雄一
東習志野小	手洗い場やトイレなど、児童の密集が想定される場所に足型を設置した。	坂井祐介
袖ヶ浦東小	クラスを複数に分け、担任以外も入り、全職員一丸となって支援を行った。	佐藤巧博
屋敷小	登校時間と休み時間を各学年やクラスでずらすことで、密にならないようにした。	大津真紀
藤崎小	「2つの生活スタイル」として感染予防・人権教育から自立した生活を促進した。	小泉 陽
実花小	担任が計画表を作成し、児童が見通しをもって学習できるようにした。	萩原明宜
秋津小	再開後、前後半グループとも3時間ずつ授業を行い、15時前に下校させた。	吉田泰則
香澄小	伝えきれなかった情報を学年やクラスごとに動画撮影しユーチューブにアップした。	猪股備前
谷津南小	3密を避けるため、担任と児童の1対1で、一人10分程度の個人指導をした。	倉光大輔
第一中	生徒一人ひとりに面談を行い心のケアをした。3密にならない座席配置をした。	伊藤将啓
第二中	正門付近に検温所を設置して対応し、水道付近に足跡型を床に貼って密を回避した。	齋藤二郎
第三中	数人ずつでも教育相談を行い、生徒の不安を解消していくことを心がけた。	三橋直行
第四中	週を追うごとに学習支援を充実させ、最終週は3年生の登校日数をふやした。	城崎雄士
第七中	右側通行のテープ、学級入室前の手洗い指示、机間指導時の口元にシールド着用。	飯野国夫

万全の準備での分散登校!



先生を先頭に安全第一



右側通行でソーシャルディスタンス・手洗い徹底!!



子どもたちの安全を考え、時間をかけて感染予防の準備をしてくださった教職員の皆様、本当にありがとうございます。おかげ様で学校に子どもたちの元気な姿を見ることができました!!



すべての人の安全を第一に考えた、2か月遅れの入学式に代わる催し。



無償昼食(中学校)



無償昼食(小学校)

習志野市では、6月1日~12日までの2週間、長期休業明けということもあり、学校給食に慣れるため、また、少しでも御家庭の助けになるように無償で昼食を提供しました。

令和2年度 指導課重点目標

☑	信頼される「学校経営」
☑	わかる授業で学力向上を目指す「学習指導」
☑	自分も友達も大切に作る心を育む「道徳教育」
☑	体力・運動能力の向上を目指す「体育・健康・安全教育」
☑	スピード感・組織的な対応で取り組む「生徒指導」
☑	多様な他者と協働する力を育む「キャリア教育・特別活動」
☑	教育的ニーズに応じた「特別支援教育」
☑	「わかるまで教えてくれる」と思われる教職員を目指す「研修」



学校の新しい生活様式開始！ 令和2年度教育課程

6月1日以降の教育課程の編成について、授業時数の確保を図ります。

夏季休業等を活用

- ・県民の日は授業日、また1学期を7月31日（金）まで、2学期開始を8月17日（月）とします。

9月以降について

- ・9月以降、全学年で週時間数を1コマ増やします。（新型コロナウイルス感染症対応に限り、小学校40分授業、中学校45分授業を可能とします）
- ・9～11月は隔週土曜日に半日授業を行います。（9/12,9/26,10/10,10/24,11/7,11/21）
- ・小6と中3は12月24日（木）まで授業とします。

学校行事について

- ・児童生徒の健康と安全を第一に考え、十分な感染症予防対策を講じられる行事についての検討を進めます。行事によって、延期、代替、中止等の検討を図ります。

【令和2年度中止とする行事 6月29日（月）現在】

- ・小中学校音楽会（7月7日）
- ・英語発表会（8月28日）
- ・各学校の公開研究会
- ・小学校セカンドスクール



Q キーワード検索

学校の新しい生活様式

検索

何を
お探しですか？



習志野市のご当地キャラ「ナラシドリ」



「学校の新しい生活様式」は習志野市HPからご覧いただけます

「球団の組織マネジメントをこれからの学校経営に生かす」

習志野市立谷津南小学校
校長 齋藤千里
株式会社 千葉ロッテマリーンズ



I はじめに

「笑顔とあいさつ日本一！」千葉ロッテマリーンズのおもてなしプロジェクト行動目標である。出社した日に目に入った言葉であり、まさに学校があるべき姿だと感じた。千葉ロッテマリーンズは、「スポーツ文化・地域・社会への貢献」を企業理念とし、地域密着型の球団として様々な地域振興活動に取り組んでいる。学校現場では、若手教員の育成や多様化する保護者ニーズへの対応、加速する情報化・国際化に伴う様々な課題が生じている。また、社会からの学校教育への期待は大きく、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、「社会に開かれた教育課程」を具現化していくことが重要である。このような状況の中、子どもたちの育成には「チーム学校」としての力が必要だと痛感している。教育機関との連携は言うまでもないが、地域との連携も必要である。そこで、学校、教育委員会、地域、企業との連携の在り方を学び、これからの学校経営に生かしていきたいと考える。また、新たな視点やマネジメント力を構築し、「チーム学校」として組織力を生かした学校経営の推進につなげていきたい。

II 研修成果

千葉ロッテマリーンズは数多くの社会貢献活動を行っている。これらは、子どもたちの笑顔やかけがえのない未来につながるものである。また、来場者数の増加・ファンの拡大・地域協賛の獲得を中心として、各担当に分かれ互いに連携協力しながら取り組んでいる。これらの活動を通して学んだことは、今後学校経営に生かすことができると確信している。どのように学校現場で生かしていくのか、以下6点挙げる。



1 目標の数値化と徹底した進捗管理

学校現場においても目標の数値化は行われている。今後も前年度の数値や取組から分析の観点を決め、目標を焦点化し数値化していくことが必要である。私は、学校評価や目標申告で数値化を生かしていきたいと思う。目標値に対する進捗管理については、特に学ぶ点が多い。学校現場でも目標値に対する進捗管理は行われているが、管理職が一人一人の業務進捗を1週間という短いスパンで確認していくことは難しいと思われる。そこで、教職員が一週間単位で計画する「週案」を有効活用して進捗の確認をしたり、学年会で学年主任に確認させたりしていく方法を実行したい。さらに、現在も目標申告（PDCAサイクルの活用）に目標を数値化しているが、より具体的に設定し教職員自ら管理できるように、日ごろから様々な機会を通して的確な助言をしていきたい。

2 月ごとの評価と顕彰

日頃から、教職員を認め伸ばしていくことが大切である。目標申告時だけではなく、月に1回程度の短いスパンで、日ごろの授業の進め方や校務分掌上の取組を評価できるような機会を設けたい。また、様々な場面を通して教職員とコミュニケーションを図り、教職員が見通しを持って意欲的に職務に取り組めるよう、指導・助言に努めたい。さらに、職員会議等で現段階での成果や修正点を示すことができれば、教職員の士気向上にもつながり、成果が上がると考える。

3 情報共有とコミュニケーションの活性化

情報共有とコミュニケーションの活性化を大切にしていきたい。情報共有については、「報告・連絡・相談・確認」をさらに周知徹底し、管理職からの必要な情報も速やかに伝えていくように努めていく。直接顔を見て話したほうがよいことと、メールやパソコン上で確認できることをすみわけしていきたい。まずは、教育委員会からの通知文や事務連絡など、可能なところからメールの活用を考えたい。また、校内共有フォルダ等、だれでも見ることでできるフォルダを設定し、連絡事項や教材の共有化に活用していきたい。行事等の取組の過程を自由に見て情報を共有していくことで、担当者へのアドバイスがいつでもだれでもでき、より創造的なアイデアにつながると考える。これらは、時短にもなり業務改善につながると考える。コミュニケーションの活性化については、まずは職員室の雰囲気をよくしていきたい。そのためには、管理職は職員との会話を重ね、アンテナを高くして適切な助言ができるようにして、風通しのよい学校を作りたい。また、千葉ロッテマリーンズで行っていた若手をプロジェクトリーダーにしてモチベーションアップを図り、人材育成につなげていたことも、ぜひ、生かしていきたい。

4 フレックスタイム制

学校現場でも働き方改革が強く求められ、業務改善を図っているところである。児童生徒の登校から下校までが「コアタイム」となるのでフレックスタイム制の導入は難しい。しかし、長期休業中やコアタイム以外では融通をきかせることができると思う。

5 おもてなしプロジェクト

千葉ロッテマリーンズの行動理念は、学校現場でも大切である。私は管理職として、「子どもの安全を最優先した環境を作り、子ども・職員の小さな変化を見逃さず、準備周到、学校生活の見通しが持てるようにし、いつも笑顔で接し、楽しみながら行う学校経営（学校での STRIKE）」をめざしていきたい。そして、「笑顔とあいさつ日本一」の学校をめざしたい。

6 外部人材活用

学校現場においても、「チーム学校」として外部の力を有効に活用することが求められている。教員以外の多くのおとなとかかわることが子どもたちのためになることは言うまでもないが、特別な支援が必要な子どもの相談を専門機関にすることで教職員の精神的なストレスを軽減し、業務改善にもつなぐと考える。私は地域とともにある学校という意識を持ち、地域と連携し外部人材を活用できる「チーム学校」を確立していきたい。

Ⅲ おわりに

「笑顔とあいさつ日本一！」おもてなしの心を大切にしている温かい球団。千葉ロッテマリーンズではそれぞれの役割を明確にし、企業目標に向けて徹底した進捗管理のもとに業務を遂行していた。社員のコミュニケーションは活発で、組織で動いていることを実感することもできた。今後、組織で動くよさを実感できるような学校経営をしていきたい。また、地域と連携し「チーム学校」として力を発揮していくには、地域に協力を仰ぐだけではなく、「地域への貢献」をすることが、地域から信頼を得られ、学校へ協力していただける体制づくりができることも学ぶことができた。また、今回の研修を生かし、職員のやる気を引き出す組織マネジメントに取り組んでいきたい。



5月27日 教育委員会会議が開会されました！



新型コロナウイルス感染予防
に十分注意して行われました

習志野市教育委員会は教育長と古本委員、高橋委員、赤澤委員、馬場委員の4名の委員で組織されており、5月27日に習志野市教育委員会第5回定例会が開会されました。全員マスク着用、窓を開け換気をする、そして時間の短縮をするなど、十分な新型コロナウイルス感染予防対策を行い、習志野教育の向上のため教育行政の協議を行いました。各委員より、保護者や地域の視点から多くの質問を受け、担当者より回答を行いました。

報告・議決事項（一部抜粋）

- ・新型コロナウイルス感染症への対応について
- ・習志野市入学準備金の融資のあっせん及び利子補給について
- ・令和2年度育英資金受給者の決定及び追加募集について
- ・令和2年度特別支援学級・通級指導教室の整備状況について
- ・大久保東小学校放課後子供教室について

習志野市立津田沼小学校



児童数：638人 24学級（知的特別支援学級3
自閉症・情緒特別支援学級2）
学校教育目標 「にこにこ きらきら もりもりの津小っ子」

あしたのハーモニーが響くまち
習志野市

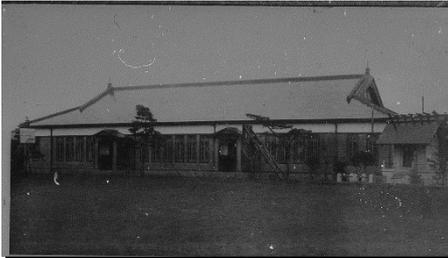
リレー連載

私たちのまち 習志野の学校 No.1

津田沼小学校はこんなところ！（津田沼小学校の歴史紹介）

市内で最も伝統のある津田沼小学校。令和4年に創立150年目を迎える本校には、自慢の校舎、子ども、遊具があります。その歴史を少しだけ紹介します。

歴史を刻んだ校舎



明治6年久々田村の東漸寺に尋常小学校として開設されました。寺小屋から学校への変化という日本の近代化を知ることができます。



昭和32年に建てられた円形校舎。狭い敷地を有効に使える利点があったそうです。平成24年惜しまれながらも、55年の歴史に幕を閉じました。



平成24年に建て替えられた新校舎。昔の校舎の特徴である円形が歴史の重みとともに図書室と音楽室に引き継がれています。

いつの時代も主役の津小っ子たち



校庭での跳び箱運動の学習は本校ならではの光景です。励まし合い、切磋琢磨する伝統が生まれた頃です。



平成24年新校舎・体育館完成記念式典の様子です。背筋が伸びた子どもの姿も本校の良き伝統です。



業間体育での駆け足行進。気持ちを合わせる伝統は、今も受け継がれています。

魅力的な遊具

注目!



なかよし山とジャンゴすべり台。遊園地も驚きの高さで長さです。一気にすべった後、山を駆け上ることで楽しみながら体力がついたそうです。



第12回公開研究会が行われたときの初代ドリームスカイダー。2代目を凌駕する約10mの高さからの眺めは、絶景だったことでしょう。

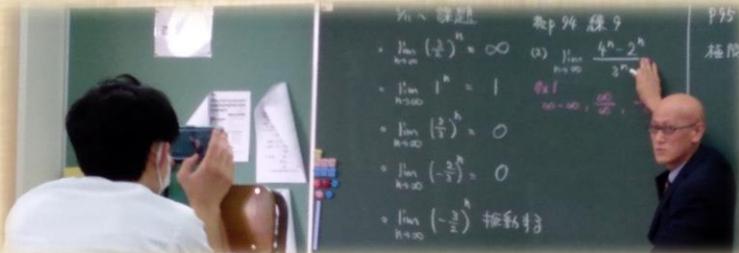


現在の2代目ドリームスカイダー。子どもたちから大人気の遊具です。約6mの高さから見る景色は、本校のおすすめスポットです。

津田沼小学校の歴史、いかがでしたか？ 本校には、他にもたくさんの魅力的な施設や遊具、それに関わる歴史があります。興味をもたれた方は、ぜひ足をお運びください。

雑草の如く遅しく

～習志野高校ニュース～



<授業動画撮影の様子>

習志野高校では、教務部の先生が中心となって、公式ホームページ内に学習支援システムを立ち上げました。学習支援システムでは休業中、健康観察・課題の配付と回収・質問の受付と回答・授業動画の配信などが日々行われました。

臨時休業が始まって以来、コロナ禍に負けることなく家庭学習や部活動の自主練習に取り組む生徒をバックアップするため、先生方がそれぞれの得意分野で力を発揮し、何ができるのか考え、ひとつひとつ実行に移しました。

いよいよ、6月1日から学校での活動が再開し、授業も始まりました。はじめは、奇数班・偶数班に分かれての半日ずつの活動になりましたが、この日を心待ちにしていた習高生にとって、本当の意味での新学年スタートになりました。

引き続き、学習支援システムを最大限に活用しながら、1学期の貴重な2か月間を、中身が濃く、思い出深い日々ができるような環境づくりに、全職員の力を結集していきます。

<学習支援システムの動作チェック>



♪～好きですふるさと習志野～♪

教育長コラム

「明日から学校ですね。どう思いますか?」「家にいるより100倍楽しいと思う。」こんなやり取りを、6月1日を迎えるニュースで見ることができました。子どもたちにとっては、待ちに待った学校の再開です。「100倍」という言葉から、子どもたちが辛抱強く生活してきたことがよく分かります。まさに、多くの痛みと我慢を伴った新型コロナウイルスの問題は、少しばかり明るい兆しが見えてきたとはいえ、まだまだ手探りの状態です。6月に入り2週間、同じクラスを午前、午後の2組に分けての学校生活は、今までと同じように友達と遊び、会話することもできず、子どもたちにとっては経験したことのないストレスになったのではと心配しています。また先生方にとっても同じ内容の授業、教育活動を2回行うばかりか、子どもたちへの目配り、衛生管理の作業など、大変な負担をかけました。本格的に学校の教育活動が行われるようになった今こそ、子どもたち、そして先生方のケアをしていかないと、新型コロナとの長丁場の戦いに勝つことはできません。校長先生方と、教育行政が知恵を出し合って、この難局を乗り切っていきたいと考えています。今こそ教育に関わる全ての人が「子どもたちのために」力を合わせて頑張りましょう。

(教育長 小熊 隆)